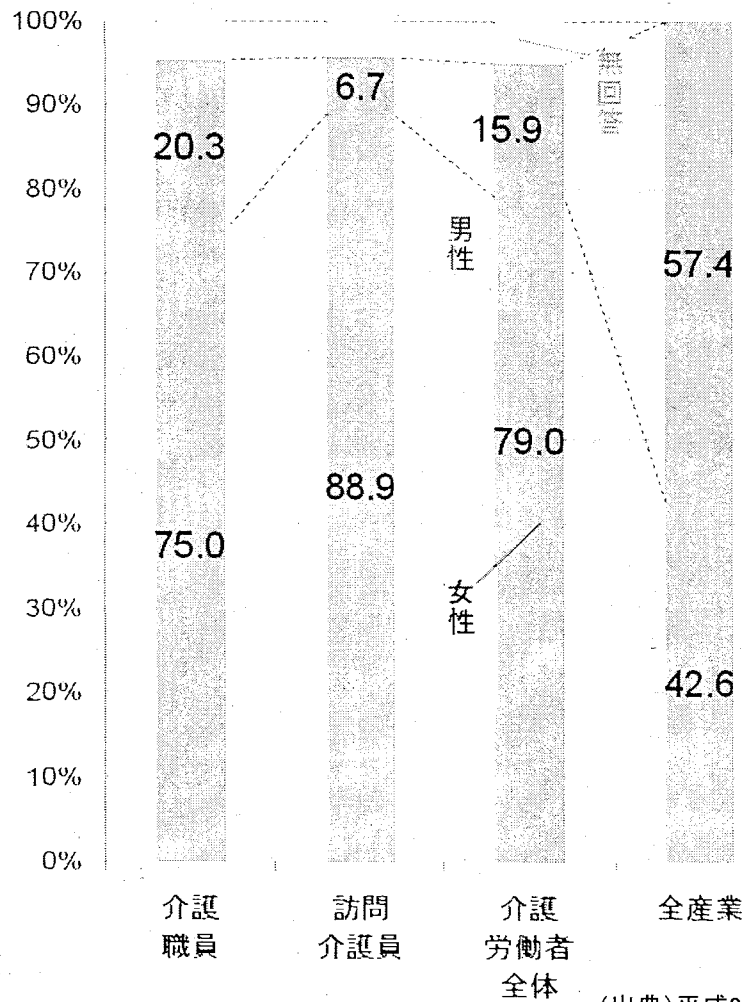


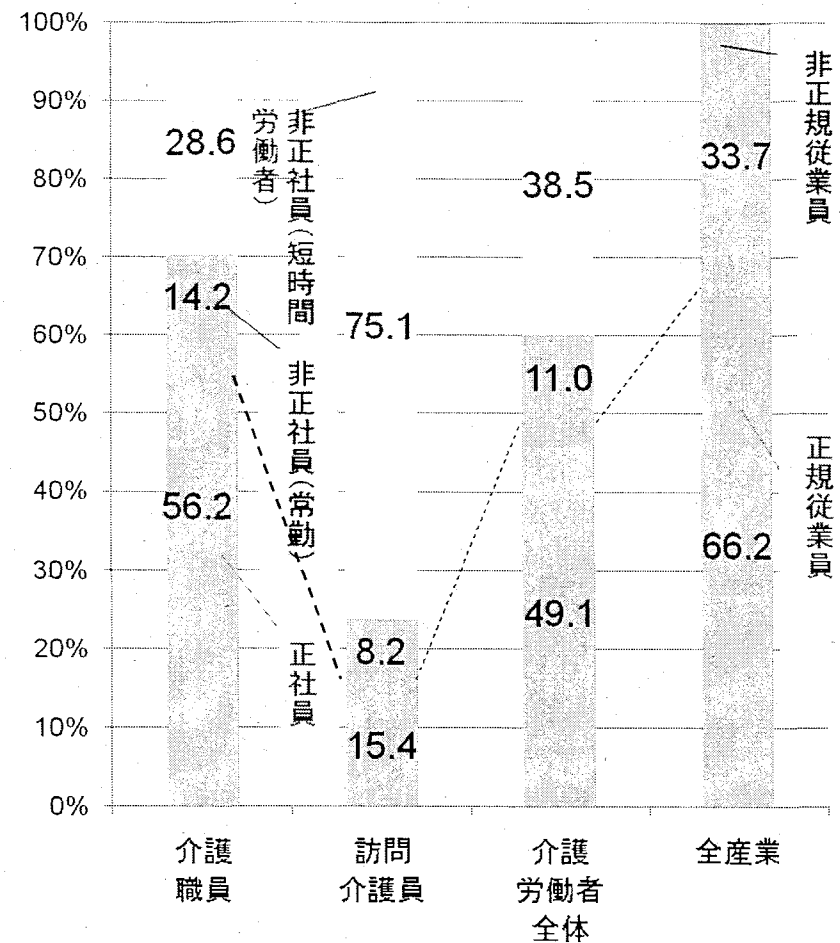
介護労働者の属性①

- 介護労働者については、女性が多い、非正規雇用が多いという傾向にある。
- 介護職員と訪問介護員を比較すると、訪問介護員の方が女性が多い、非正規雇用が多いという傾向にある。

介護労働者等の性別



介護労働者等の就業形態

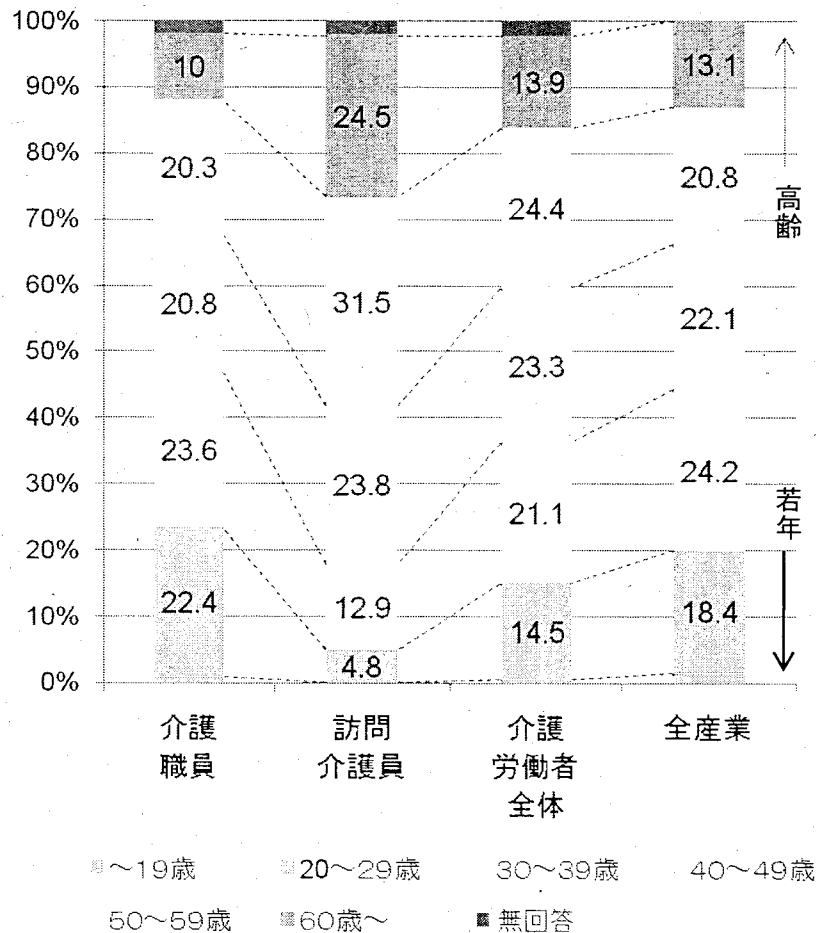


(出典)平成21年度介護労働実態調査((財)介護労働安定センター)、労働力調査(平成21年平均)(総務省)

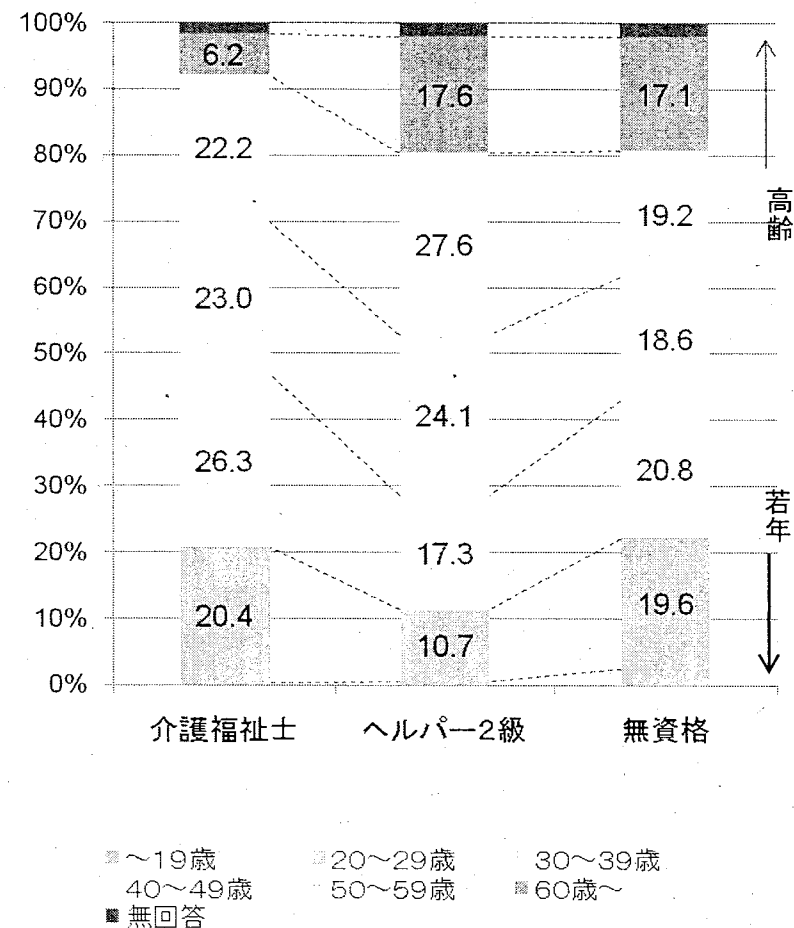
介護労働者の属性②

- 介護職員（訪問介護員以外の職員）と訪問介護員を比較すると、訪問介護員の方が年齢層が高い傾向にある。
- また、介護労働者が保有する資格別の年齢構成を比較すると、介護福祉士取得者については20～30代が比較的多く、ヘルパー2級取得者については50～60代が比較的多い。

介護労働者等の年齢構成①



介護労働者の年齢構成②(資格別)



(出典)平成21年度介護労働実態調査((財)介護労働安定センター)、労働力調査(平成21年平均)(総務省)

介護職員の賃金①（常勤労働者）

- 勤続年数、平均年齢等の要素の違いがあり、単純な比較はできないが、①常勤労働者については、介護分野の平均賃金の水準は産業計の平均賃金と比較して低い傾向にあり、②常勤労働者である介護職員の平均賃金は、医療福祉分野における他の職種の平均賃金と比較して低い傾向にある。
- 女性の介護職員については、産業計や福祉・介護分野全体との差が、それほど大きくはない。
- なお、介護職員は、産業計と比較すると、勤続年数が短い（半分弱）。

常勤労働者の男女比、平均年齢、勤続年数及び平均賃金

		男女計			男性			女性				
		平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	きまって支給する現金給与額 (千円)	構成比 (%)	平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	きまって支給する現金給与額 (千円)	構成比 (%)	平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	きまって支給する現金給与額 (千円)
産業別	産業計	41.1	11.4	318.1	67.3	42.0	12.8	354.6	32.7	39.4	8.6	243.2
	医療業	39.0	8.2	332.2	25.3	39.7	8.8	455.6	74.7	38.8	8.0	290.5
	社会保険・社会福祉・介護事業	39.9	6.8	238.6	26.8	38.8	7.1	277.0	73.2	40.3	6.7	224.5
	サービス業	42.9	7.9	270.7	67.0	44.6	8.9	296.7	33.0	39.6	5.7	218.0
職種別	医師	40.5	5.0	877.8	70.1	42.3	5.5	938.2	29.9	36.1	3.8	735.8
	看護師	36.3	6.8	317.1	7.6	35.3	7.3	323.2	92.4	36.4	6.8	316.6
	准看護師	44.1	9.7	276.2	9.6	37.7	8.7	283.8	90.4	44.8	9.8	275.4
	理学療法士、作業療法士	29.9	4.0	274.0	48.9	30.9	3.9	283.1	51.1	28.9	4.0	265.4
	保育士	33.8	7.5	217.6	6.0	31.1	6.3	238.6	94.0	33.9	7.6	216.2
	ケアマネジャー	44.5	7.4	260.4	20.9	38.3	7.0	284.6	79.1	46.1	7.5	254.0
	ホームヘルパー	44.6	5.1	202.5	16.0	37.8	3.4	214.6	84.0	45.9	5.4	200.2
	福祉施設介護員	37.6	5.4	213.9	30.9	33.6	5.3	231.5	69.1	39.4	5.4	206.0

(資料出所)厚生労働省「平成21年賃金構造基本統計調査」

注1)常勤労働者とは、賃金構造基本統計調査の一般労働者(短時間労働者以外の労働者)をいう。

短時間労働者とは、1日の所定労働時間が一般の労働者よりも短い労働者、又は、1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない労働者をいう。

2)サービス業とは、廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、その他の事業サービス業、政治・経済・文化団体、宗教、職業紹介・労働者派遣業が含まれる。

3)福祉施設介護員は、児童福祉施設、身体障害者福祉施設、老人福祉施設その他の福祉施設において、介護の仕事に従事する者をいう。

4)きまって支給する現金給与額:労働協約、就業規則等によってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される現金給与額。基本給のほか、家族手当、超過労働手当を含むが、賞与は含まない。なお、手取り額ではなく、所得税、社会保険料などを控除する前の額である。

介護職員の賃金②（短時間労働者）

勤続年数、平均年齢等の要素の違いがあり、単純な比較はできないが、短時間労働者である介護職員の1時間あたり所定内給与額は、産業計と同水準、又は、産業計より高い傾向にある。

短時間労働者の男女比、平均年齢、勤続年数及び1時間あたり平均所定内給与額

	男女計			男性				女性				
	平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	1時間あたり 所定内給与額 (円)	構成比 (%)	平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	1時間あたり 所定内給与額 (円)	構成比 (%)	平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	1時間あたり 所定内給与額 (円)	
産業計	43.3	4.8	1,002	25.7	40.3	4.1	1,086	74.3	44.4	5.1	973	
職 種 別	医師	44.4	5.1	11,498	76.6	45.4	5.6	11,630	23.4	40.8	3.6	11,064
	理学療法士、作業療法士	39.2	4.4	3,592	42.6	39.5	3.9	5,138	57.4	39.0	4.8	2,444
	看護師	43.3	4.2	1,626	1.2	44.1	3.0	1,739	98.8	43.3	4.2	1,624
	ケアマネジャー	49.7	4.4	1,405	7.6	44.6	4.2	1,472	92.4	50.1	4.4	1,400
	准看護師	45.9	5.5	1,383	2.0	26.7	2.5	1,257	98.0	46.3	5.6	1,386
	ホームヘルパー	51.9	4.8	1,271	9.5	43.4	3.5	1,294	90.5	52.3	4.9	1,270
	幼稚園教諭	42.1	5.4	1,033	1.8	53.0	13.5	1,715	98.2	41.9	5.2	1,021
	保育士	44.4	4.9	1,024	1.7	43.3	3.1	987	98.3	44.4	4.9	1,025
	福祉施設介護員	48.3	3.6	971	9.7	50.0	3.0	994	90.3	48.1	3.7	969
	機械組立工	49.2	11.0	953	22.1	55.4	15.2	1,234	77.9	47.4	9.8	873
	百貨店店員	46.1	6.2	942	15.0	33.3	3.3	956	85.0	48.3	6.7	940
	ビル清掃員	58.2	5.0	923	17.6	56.8	4.0	1,051	82.4	58.5	5.2	896
	給仕従事者	33.2	3.0	912	23.9	25.4	1.9	934	76.1	35.6	3.3	905
	調理士	38.8	4.0	909	45.2	27.3	2.4	928	54.8	48.3	5.4	893
	パン・洋生菓子製造工	46.1	6.5	897	17.1	45.8	6.3	980	82.9	46.2	6.5	880
	スーパー店チェッカー	36.9	3.9	862	15.7	24.9	2.0	841	84.3	39.2	4.2	865
マシン縫製工	49.0	9.3	777	1.1	64.1	6.0	1,053	98.9	48.8	9.4	774	

(資料出所)厚生労働省「平成21年賃金構造基本統計調査」

注1)短時間労働者とは、1日の所定労働時間が同一事業所の一般の労働者よりも短い労働者、又は、1日の所定労働時間が同一事業所の一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が同一事業所の一般の労働者よりも少ない労働者をいう。

2)福祉施設介護員は、児童福祉施設、身体障害者福祉施設、老人福祉施設その他の福祉施設において、介護の仕事に従事する者をいう。

3)1時間あたり所定内給与額:各労働者ごとに、所定内給与額を所定内実労働時間数で除したものである。円未満に端数がある場合は、円未満を四捨五入している。なお、所定内給与額とは、労働協約又は就業規則等によりあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって6月分として支給された現在給与額(きまって支給する現金給与額)のうち、超過労働給与額(①時間外勤務手当、②深夜勤務手当、③休日出勤手当、④宿日直手当、⑤交代手当として支給される給与をいう。)を差し引いた額で、所得税等を控除する前の額をいう。

介護労働者の保有資格別賃金

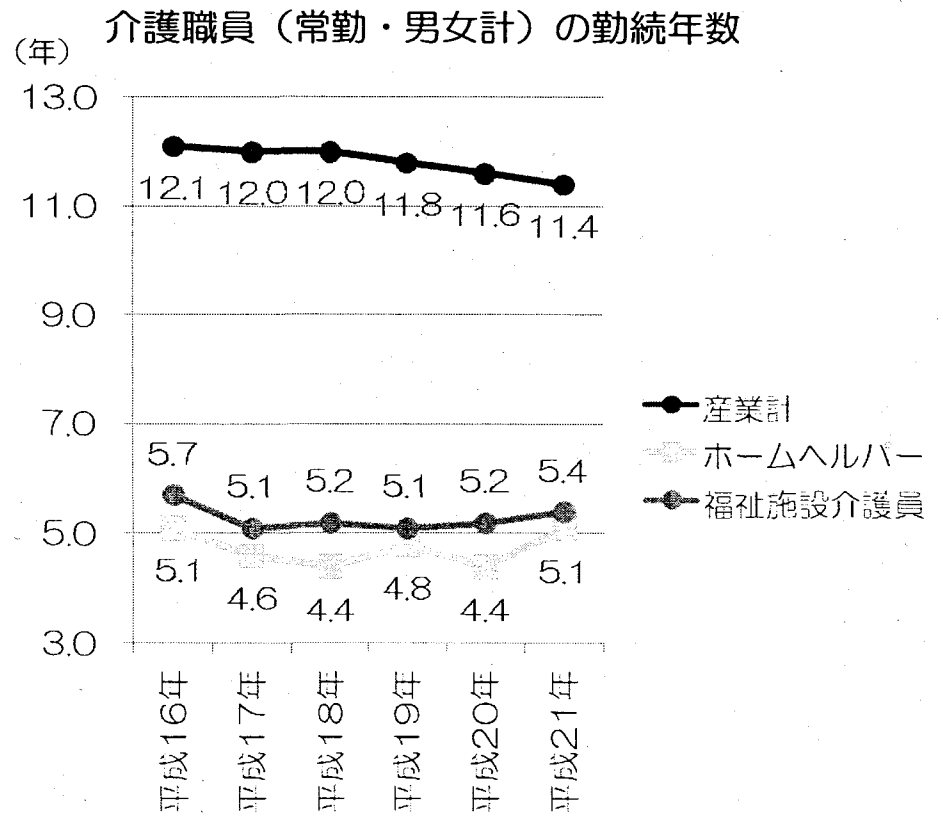
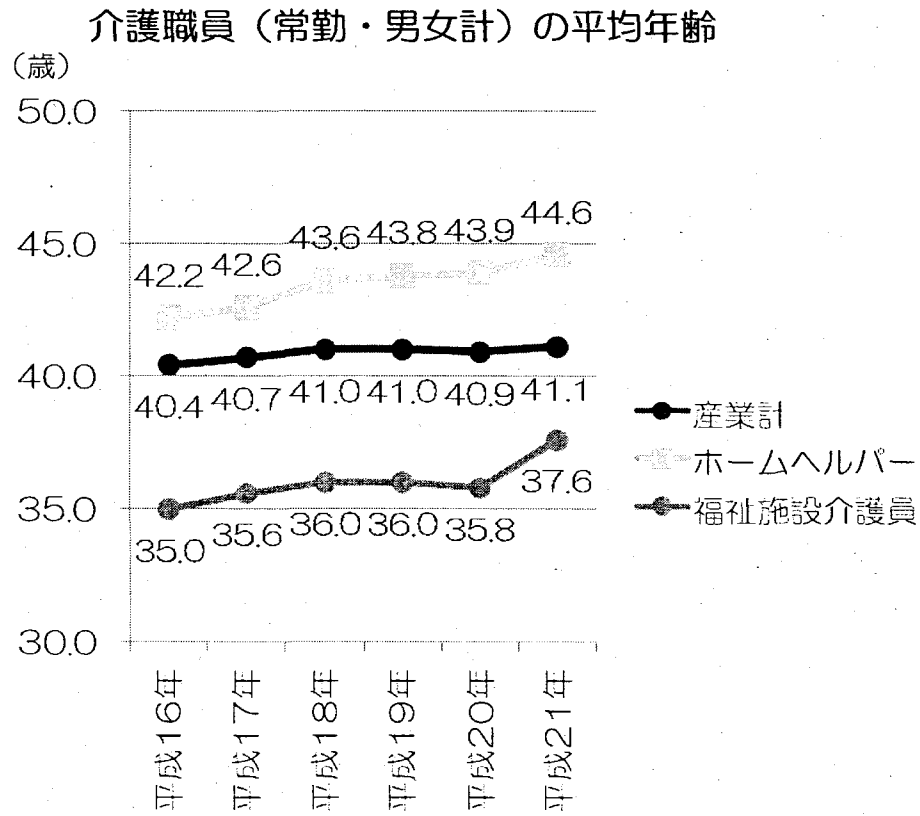
○ 勤続年数、平均年齢等の要素の違いがあり、単純な比較はできないが、介護福祉士の平均月給は、ホームヘルパー2級取得者よりも2.6万円程度高い。

1か月の実賃金（月給の者）

保有資格	平均実賃金
介護福祉士	232,193円
ホームヘルパー2級	206,450円
介護支援専門員	274,527円
看護師・准看護師	273,899円
無資格	196,831円

介護職員の平均年齢と勤続年数

- ホームヘルパーの平均年齢は40代前半で推移しているものの、上昇傾向にある。また、勤続年数については、4～5年で推移している。
- 福祉施設介護員の平均年齢は35歳前後で推移してきたが、平成21年には37.6歳と上昇している。また、勤続年数については、5年程度で推移している。



ホームヘルパー2級修了者の介護福祉士資格取得意向

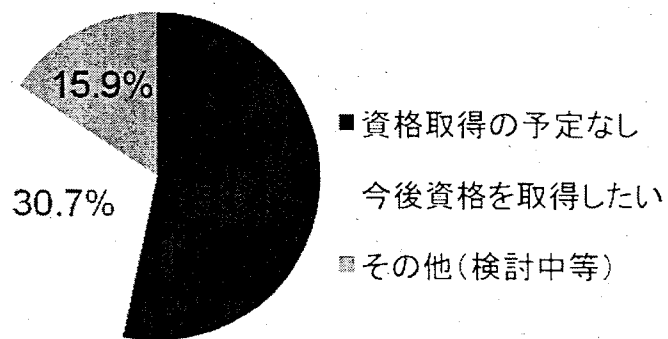
- 平成17～18年度にホームヘルパー2級研修を修了した者に対するアンケート調査結果によると、
 - ・ 「今後、介護福祉士資格を取得したい」という回答が約3割となっている。
 - ・ また、「資格取得の予定なし」と回答した者にその理由を調査したところ、「自分の年齢を考えると必要性を感じない」と回答した者が多い。

～調査の概要～

- ・ 平成17～18年度にホームヘルパー2級課程を修了した者のうち、各年度2,000人を無作為抽出。
- ・ 調査実施期間は平成20年3～5月。
- ・ 有効回答数は1,395人（有効回答率 34.9%）
うち、現在介護職に就いている者が656人（訪問系・施設系両方）、介護職に就いていない者が735人、不明が5人。
- ・ 有効回答者の男女比は、男性が14.8%、女性が84.1%、不明が0.1%。
- ・ 有効回答者の年齢構成は以下のとおり。
～29歳:7.4% 30～39歳:15.8% 40～49歳:21.4% 50～59歳:38.6% 60歳～:15.7% 不明:1%

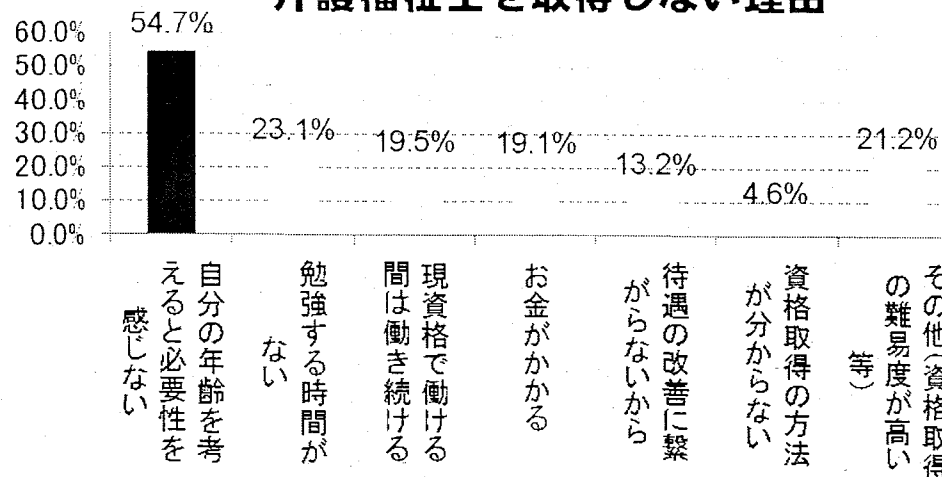
【表1】

介護福祉士の取得意向



【表2】

介護福祉士を取得しない理由



介護労働者の保有資格（勤続年数別）

- 介護労働者の介護福祉士資格取得状況を見ると、勤続20年までは、勤続年数が長くなるほど資格取得割合が高くなる傾向がある。
- 特に、勤続10年以上20年未満の者については、約半数が介護福祉士資格を取得している。

勤続年数	介護労働者数 (人)	介護福祉士	介護職員基礎研修	ホームヘルパー1級	ホームヘルパー2級	介護支援専門員	無資格	無回答
1年未満	11,054	21.6%	0.9%	3.7%	49.0%	6.5%	10.6%	3.5%
1年以上2年未満	12,425	22.6%	1.2%	3.7%	50.9%	6.3%	8.2%	2.7%
2年以上3年未満	10,144	24.3%	1.2%	4.2%	52.5%	6.9%	5.8%	3.2%
3年以上4年未満	8,492	25.8%	1.5%	4.9%	52.6%	8.3%	4.7%	2.2%
4年以上5年未満	6,548	33.2%	1.9%	3.9%	52.9%	8.3%	3.7%	2.0%
5年以上10年未満	18,315	39.6%	2.0%	6.0%	49.3%	11.5%	2.8%	2.0%
10年以上15年未満	4,104	51.0%	1.9%	5.3%	27.4%	24.5%	3.3%	1.6%
15年以上20年未満	1,538	53.5%	2.2%	7.9%	14.6%	29.8%	4.3%	1.3%
20年以上	914	41.7%	1.2%	5.8%	8.1%	39.1%	3.6%	2.2%
無回答	3,322	22.1%	1.4%	5.4%	48.6%	8.2%	4.2%	12.4%

(注1) 保有資格は複数回答であり、例えば、一人の介護労働者が介護福祉士とホームヘルパー2級の両方を取得している場合には、それぞれに計上されている。

(注2) 本調査では、上表の資格以外にも、看護師・准看護師、PT/OT/ST、社会福祉士、福祉用具専門相談員、栄養士/管理栄養士の資格取得状況についても調査している。